

## 「備前焼活性化プロジェクト」備前焼を世界に

備前焼は日本六古窯（備前・越前・瀬戸・常滑・信楽・丹波）の一つであり、その中でも最も古く1000年以上の歴史をもつ焼き物で、1982年に国の伝統的工芸品に指定され、2017年には日本遺産に認定されています。

備前焼は堅くて割れにくいため、茶器や茶陶など日用品として愛用されてきました。しかしながら、安価で便利な食器の普及やライフスタイルの変化により、伝統的工芸品への興味や関心が薄れるなど需要は減少傾向となっています。

備前市では、伝統的な焼き物文化を守り、新たな文化の確立や販路拡大、また、伝統的工芸の継承や後継者の確保・育成のため、様々な事業に取り組んでいます。

## 【 寄附金を活用させていただく事業 】

### ○日本文化普及啓発、販路拡大事業

昨年度実施した国際見本市などの海外への出展を通し、日用品としてのイメージから美術的価値を高めることでブランド力を向上させ、新たな需要を掘り起こし販路拡大を図ります。

### ○登り窯の改築、穴窯新築に要する補助事業

安定的・高品質の商品を生産する基盤を整備するため、備前焼作家・窯元を対象に燃料効率や使用率の低い大型の窯から小型の窯へ改築や窯の新設に対して補助金を支給します。